



photo: れいあ Reia (小学5年生 Kelas 5 SD)

映像・写真展 Pameran video dan foto

# 気仙沼のインドネシア人 みなとまつり・インドネシアパレード編

## Orang Indonesia di Kesenuma Parade Indonesia di Kesenuma Minato Festival

2019年 9月14日(土) ~ 10月13日(日)

気仙沼図書館 (ユドヨノ友好こども館)

Perpustakaan Kesenuma 宮城県気仙沼市笹が陣 3-30

<OPEN>火曜日~金曜日: 9時から19時

土曜日・日曜日: 9時から17時

<休館日>月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

祝日、第4木曜日

気仙沼のこどもたちと  
撮ったパレードの映像・  
写真を展示します!

Kami akan menampilkan  
video dan foto parade yang diambil  
bersama anak-anak Kesenuma./

主催 | NPO 法人地球対話ラボ 共催 | 気仙沼図書館

助成 | 公益財団法人トヨタ財団

協力 | 気仙沼市、気仙沼商工会議所青年部、株式会社菅原工業、気仙沼小学校、リアス・アーク美術館

お問合せ | NPO 法人地球対話ラボ Tel. 070-5015-7180 メール chikyutaiwa@gmail.com



## 撮影自体を実習生との交流に

2019年3月、気仙沼に住むインドネシアからの技能実習生へのインタビューを中心に「気仙沼のインドネシア人」という映像を制作し、写真やテキストとともに気仙沼図書館に展示しました。同じ津波被災地である東北とインドネシア・アチェとをアートで結び、互いに気づきを得ていく「アチェ＝ジャパン・コミュニティアート・プロジェクト」を積み重ねていく中、気仙沼に多くのインドネシア人が住んでいることを知り、彼らがどんな思いで日本へ来たのかを知りたいと思ったからです。

映像は東京やアチェなどでも上映され、「実習生の日常をもっと知りたい」との感想を受け取りました。一方、気仙沼でお話を聞くと、「日常的にインドネシアの人を見かけるけれど、話をする機会はほとんどない」とのお話をお聞きしました。

そこで3月の時点では盛り込めなかった実習生の日常を追追加取材していくとともに、その撮影自体をインドネシア人技能実習生との交流のきっかけにできるのではないだろうかと考えようになりました。

今回、その第一弾として「気仙沼みなとまつり」でのインドネシアパレードをみんなで撮影するという企画を行いました。参加したのは気仙沼小学校の5年生3人と新月中学校の3年生1人の合計4人。「最初は話しかけたことがないから不安だったけど、話してみるとインドネシアの人はみんな明るくて楽しい人たちだった」といった感想をもらいました。

今回、これら交流のようすを「みなとまつり・インドネシアパレード編」として映像や写真を通してインドネシアとのかかわりの深い気仙沼図書館でご紹介します。

今後もさまざまな機会をとらえてインドネシアとの交流の場をつくるとともに、最終的にそれらの成果を盛り込んだドキュメンタリー「気仙沼のインドネシア人」を完成させていきたいと考えています。

(現代アーティスト：門脇篤)



①



②



③



④



⑤

①そう (中3)、②みさ (小5)、  
③るか (小5)、④門脇篤、⑤中川真規子

「子どもたちの撮影は、実習生さんのいきいきとした表情を引き出していますね。気仙沼の皆さんも楽しそうで、みなと祭りや国際交流という気仙沼の魅力が伝わってきます。」(気仙沼図書館吉田睦美館長)

## 気仙沼 YEG インドネシアパレード

航海の安全と大漁を祈願する気仙沼地方最大級の夏祭り「気仙沼みなとまつり」で行われるパレードのひとつ。2003年に「バリパレード」として始まり、震災翌年の「気仙沼みなとまつり」再開時にアチェから贈られた衣装を加えたことで、「インドネシアパレード」というかたちになり、その後多くの気仙沼の技能実習生の出身地であるジャワの衣装なども加えられて現在の形に。気仙沼商工会議所青年部が運営を担う。

## 気仙沼図書館 (ユドヨノ友好子ども館)



東日本大震災で被災しましたが、2018年3月31日に再建。インドネシアからの援助を受け、1階の児童書コーナーとおはなしスペースを「ユドヨノ友好子ども館」と名付けました。気仙沼児童センターが併設されているほか、居心地のいいカフェもあります。

## 出展者

そう (中3) 門脇篤 (現代アーティスト)  
みさ (小5) 中川真規子 (どこでもピントウさんぽ)  
るか (小5) 渡辺裕一 (映像作家)  
れいあ (小5)

## 主催：NPO法人地球対話ラボ

地球対話ラボ  
The Laboratory for Global Dialogue

地球対話ラボは、テレビ電話などを使って日本と世界各地をつなぎ、顔を見ながら対話する国際交流や、映像制作・発信を行う活動などを行っています。震災後、東北とインドネシアをむすぶ活動に取組み、2019年3月には三陸国際芸術祭連携企画「未来との対話、三陸とインドネシア」を気仙沼市等で実施しました。今年度、NPO法人地球対話ラボは気仙沼小学校とインドネシア・アチェの小学校の交流活動「地球対話」を行います。

その一方で、気仙沼とインドネシアとのかかわりをテーマにした映画「気仙沼のインドネシア人」を製作中です。